

# 米軍ヘリコプターMH-53Eの予防着陸に係る緊急要請

令和6年8月7日

神奈川県基地関係県市連絡協議会

外務大臣 上川陽子 殿

防衛大臣 木原 稔 殿

神奈川県基地関係県市連絡協議会

会長 神奈川県知事 黒岩 祐治

副会長 横浜市長 山中 竹春

副会長 相模原市長 本村 賢太郎

藤沢市長 鈴木 恒夫

逗子市長 桐ヶ谷 覚

大和市長 古谷田 力

海老名市長 内野 優

座間市長 佐藤 弥斗

綾瀬市長 橘川 佳彦

8月3日10時54分頃、米軍の第15ヘリコプター機雷掃海飛行隊所属のMH-53Eヘリコプターが海老名市内の水田で予防着陸を行い、その後、間もなく離陸し、厚木基地に着陸しました。

予防着陸の現場は学校や高齢者施設、東名高速道路等にも近接し、一步間違えれば近隣住民の生命・財産に重大な被害が生じかねない事態であり、誠に遺憾です。また、現場は、水田として利用されている民有地であり、その影響等も慎重に確認のうえ必要な対応を図る必要があります。

今後、国において、事態の重大性に鑑み、米軍と確実に連携し、徹底した機体整備等の必要な安全対策を講じるべきです。

さらに、予防着陸に至った原因等は現時点では示されていませんが、適切な再発防止策を講じるためにも、必要な情報を明らかにするべきです。

については、日米両国政府で連携のうえ、次の対応を行うよう強く求めます。

- 1 今回、予防着陸に至った原因を早急に明らかにし、原因に即した適切な安全対策を講じるとともに、関係自治体に対して適時適切に情報提供し、公表すること。
- 2 同型機を含めた航空機の徹底した整備を実施するとともに、同型機の安全が確認できるまでの間の飛行停止等、必要な安全対策を確実に実施すること。
- 3 予防着陸があつた水田等に被害が確認された場合には、所有者等に対して適切な補償を実施すること。